

平成 27年 06月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

筑後水の郷の家

グループの名称

久留米めくるめく会

直近採択グループ番号

04-0141-0426

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

田村 誠一郎

代表者印

代表者所属先

株式会社タムラ

代表者構成員番号

Ⅲ-2

代表者所在地

福岡県久留米市安武町武島794

代表者電話番号

0942-27-0456

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社タムラ一級建築士事務所

事務局構成員番号

V-1

事務局担当者名

田中 大二郎

印

事務局郵便番号

830-0071

事務局所在地

福岡県久留米市安武町武島794

事務局電話番号

0942-27-0456

事務局FAX

0942-26-8116

事務局担当者E-mail

sekkeitamura@ktarn.or.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	筑後水の郷の家
2. グループの名称(必須)	久留米めくるめく会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0141-0426
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福岡県筑後地域及び隣接他県地域
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	田村 誠一郎
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社タムラ
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-2
9. グループ代表者所在地(必須)	福岡県久留米市安武町武島794
10. グループ代表者電話番号(必須)	0942-27-0456
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社タムラ一級建築士事務所
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	田中 大二郎
14. グループ事務局郵便番号(必須)	830-0071
15. グループ事務局所在地(必須)	福岡県久留米市安武町武島794
16. グループ事務局電話番号(必須)	0942-27-0456
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0942-26-8116
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	sekkeitamura@ktarn.or.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	1	
V. 設計	1	
VI. 施工	9	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	福岡県筑後地域及び隣接他県地域	九州地方(宮崎・大分・熊本等)	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 9 戸		地域材加算合計 4 戸		
	経験工務店+未経験工務店の合計				
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	5 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	4 戸	
	うち申請が確実	1 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸
	うち申請が未確定	4 戸	うち申請が未確定	4 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 4 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	1 戸	地域材加算合計	1 戸	
うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		
うち申請が未確定	1 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸		
うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		
うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物				
	うち申請が確実	0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	グループの施工構成員の協議により先着順とする			
---	------------------------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	4 戸	交付申請戸数	1 戸
	竣工済	1 戸	竣工予定	0 戸
木造建築物				
採択棟数	0 棟	採択床面積	0 m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 筑後水の郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県筑後地域及び隣接他県地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 久留米めくるめく会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0141-0426	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震・耐風等級2をそれぞれ確保する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	省エネルギー等級4とし、エコ設備の推進と設計上で通気・採光を取り入れた工法とする。 資材・エネルギーの地産地消で地域に貢献する家作りをする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に基づき、久留米絨製品・久留米つつじをそれぞれ新築時に導入する	○
④①～③の背景	筑後地方は九州最大の川である筑後川が流れており比較的温暖な地域である。 夏は台風や大雨による水害の影響も受ける、冬は内陸にあることもあり気温も低くなりやすく積雪することもある。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	『筑後水の郷の家』の共通仕様書を作成する。	○
②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	共通仕様書を作成することにより、建材・資材調達の共同化や事務の合理化を図っていきます。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	共通仕様書を基に生産の合理化等に向けた体制を整えていく。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	共通仕様書の作成等を初め、建材・資材調達の共同化や事務の合理化を先導していく。	○
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	共通仕様書に基づき、標準施工仕様の整備を行う。	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	基礎配筋検査・中間検査・完了検査等の検査が完了合格したことが分かる検査済証等の書類の写しを事務局に提出して、事務局にて把握する。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	標準見積書を作成し建築コストの見える化を図る。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	商業施設等で『筑後水の郷の家』のPR活動を行う。 ※地域でのPRが不足しているのでPR活動を積極的に行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ファイナンシャルプランナーによる講習相談会を開催し、お施主様に資金計画表を提出する。 住宅完成保証制度を利用する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 筑後水の郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県筑後地域及び隣接他県地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 久留米めぐるめく会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0141-0426	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	・第三者機関『住宅履歴の図書館』へ住宅履歴情報の保管を行う。 ・グループ共通の維持保全計画書を活用し定期点検時期を2・5・10・15・20・25・30年として第三者機関『住宅履歴の図書館』を活用した点検通知を行い確実に実行する。	○
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	・メンテナンス実施書類の写し、実施状況写真を事務局に提出し、実施状況を把握する。	○
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	・定期的に概ね6ヶ月に1回程度の、住まいの管理・DIY相談会、メンテナンス実演・体験会などを実施する。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	・事務局を中心として、維持管理検討委員会を設け定期点検時期等を構成員に通知していく。	○
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	・グループの構成員が加入している完成保証制度『ハートシステム』を基本的に利用する。 ・万が一グループメンバーが維持管理ができない事態になった場合事務局と施工業者にて協議を行い物件の引継ぎを行う。	○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	事務局として、施工構成員が住宅建設瑕疵担保責任保険へ加入し確実に住宅の瑕疵を担保出来ていることを確認するために、施工構成員に住宅建設瑕疵担保責任保険の保険証券の写しを事務局に提出してもらう。	◎
その他		
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	・長期優良住宅の基本から各基準を解説など講習会等を実施し、申請に関してもバックアップサポートを行う。 ・事務局を中心に、国が主導する補助制度の内容なども率先して活用できるよう解説セミナーや告知を行い、活用を推進しその補助制度の主旨理解を深め、知識となるよう促す。	○
② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	・事務局として、概ね3ヶ月に1回程度、長期優良住宅の基本から各基準の解説など講習会、又はグループ構成員で行う現場公開に参加し、長期優良住宅の施工に対する知識や技術を学ぶ取組を行う。	○
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	ゼロ・エネルギー住宅、住宅建築物省エネ改修事業、スマートハウス等の新たな規格・基準への取り組み。	○
④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	スムーズに取り組めるよう事務局を中心にマニュアル等を作成し実際に構成員に活用してもらうことにより新しい基準に慣れてもらい向上を図る。	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	・未受講の施工グループ構成員の5社各2人の10人	○
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	・事務局として、省エネ技術講習会の実施状況の情報を早期に把握し、未受講の施工グループ構成員へ通知し、受講を促す。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法		
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等		
その他		
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 筑後水の郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県筑後地域及び隣接他県地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 久留米めぐるめく会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0141-0426	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <p>・土台は、耐久性・耐水性・強度の強い桧(地域材)を使用する。 ・柱は、大分方式乾燥材の杉(地域材)を使用する。 ・梁桁は、180成以下は、杉(地域材)を使用し、180成以上は強度の強い米松、集成材を使用する。</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <p>・地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上を使用する。</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上を使用する。 ・柱には大分方式乾燥材を使用する。</p>	◎
	<p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <p>月に一度、地域材の在庫と価格を調査し、グループ構成員と会議を行う。</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p> <p>会議の中で物件の納品予定日・使用する材料の立米数を確認し、需要と供給のバランスが取れているかを確認し、予測していく。</p>	○
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>和室或は、畳コーナーを取り入れたプランの推奨をしていく。</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>地域景観に合う、和をモチーフにした外観デザインの推奨をし、和瓦の使用を促進していく。</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>和室を取り入れたプランの推奨をし、襖の使用を促進していく。</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>窓の内障子の推奨により室内の温熱環境に配慮し省エネにつなげていく。</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p> <p>久留米市の伝統工芸品である『久留米糺』の商品を使用し、建物の意匠や暮らしに生かしていく。</p>	○
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>地域を代表する品種の『久留米つつじ』10株を新築祝いとしてお施主様に贈呈し敷地内の緑化を推進する。</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p>和室を取り入れたプランの推奨をしていく。</p>	◎
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

住宅機器での一次エネルギー消費量の10%削減をしながら、筑後地域エリアの気候風土に合った採光、通風の工夫をする。
 又、久留米つつじを中心とした緑化によりヒートアイランド対策し、二酸化炭素排出の抑制につながる住宅とする。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。